

これから迎える長い梅雨の間を和ませてくれる、紫陽花の花の色を楽しめる季節となりました。皆様方におかれましては、益々ご健勝のこととお慶び申し上げます。また、日ごろより、当院の地域連携にご理解とご協力を賜り、感謝申し上げます。

「よろしくお願ひいたします」



泌尿器科部長 南館 謙

平成 26 年 4 月 1 日付で、緑市民病院泌尿器科に着任いたしました南館 謙（みなみだて ゆずる）です。よろしくお願ひいたします。平成 7 年に岐阜大学を卒業し、岐阜県内の病院を中心にトレーニングを積んでまいりました。専門は悪性腫瘍で、手術療法、化学療法、放射線療法（IMRT、小線源治療）などを行ってまいりました。最近では緩和ケアなどの自己研鑽も行っております。

緑市民病院の特徴としまして、比較的近隣に大学病院やそれに準ずる病院が多数あります。医療機械の進歩は当科の領域でも凄まじいものがあり、da Vinciを用いたロボット補助下での手術は前立腺がん治療が唯一の保険治療となっております。特にこの東海地方は全国的に見てもこれらの高度先進機器の普及が早い地域である、という事実があります。当科が現時点で高度先進医療を担っていくことは、ソフト、ハードの両面から困難と思われまゝす。しかし、診断に至るまでの精査、通常の開腹手術や化学療法はもちろんです。区内唯一の放射線治療機器を用いての緩和照射などは十分可能であります。現在は手術治療も低侵襲化の時代ですが、da Vinciはなくとも、現存の機器を用いて、可及的に創を小さくし、術後の痛みを軽減する工夫は十分に可能です。また、抗がん化学療法や放射線療法など、どうしても治療期間が長くなってしまふ悪性腫瘍治療において、より身近で小回りが利くという当科が今後担うべき役割は決して小さくない、と考えております。

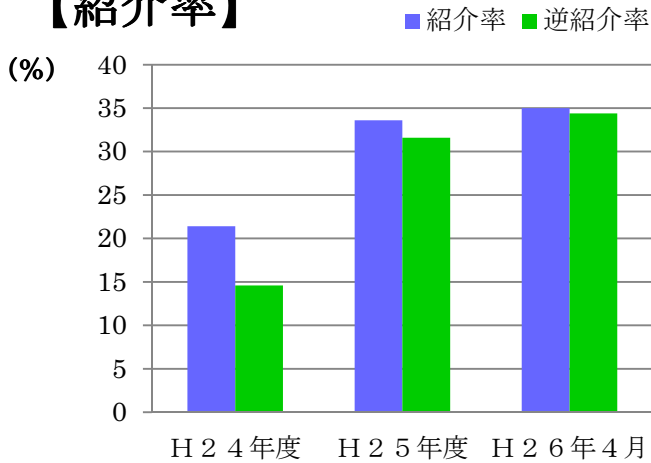
また私の出身であります岐阜大学は、“腎臓内科医が非常に少ない”、という現状があり、ほとんどの関連施設では血液浄化療法は泌尿器科が担当してまいりました。そのため、保存期腎不全の治療、シャント作成、透析導入・維持はかなりの経験があります。愛知県一宮市の病院勤務時代には血液透析患者 300 名、腹膜透析患者 60 名を泌尿器科医 5 名で診察してまいりました。このため、腎不全は専門、とは言いませんが、“かくし芸”的な疾患であります。現在当院には血液浄化設備がありませんので、透析導入や維持は不可能ですが、保存期の治療、シャント作成のご要望がありましたらご紹介いただけますと幸甚です。

これからの高齢化社会において、泌尿器科疾患はさらに増加してゆくことが予想されております。まずは相談しやすい窓口であること、当科での治療のみならず必要があれば高度先進医療を提供できる病院との連携と適切なアドバイス、治療後の follow や緩和治療、終末期まで、地域のホスピタリティーとなるべく努力してまいります。

皆様、何卒よろしくお願ひいたします。

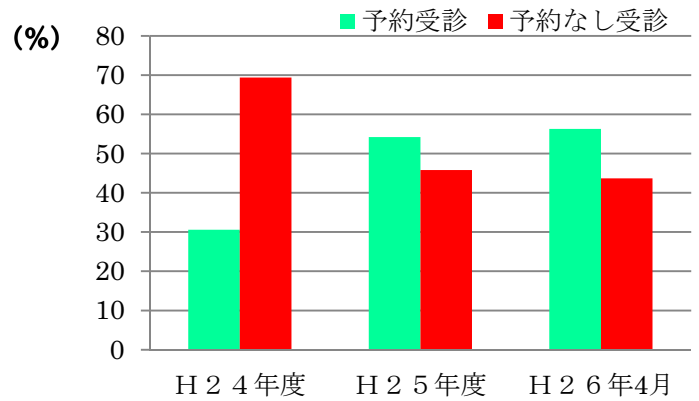


【紹介率】

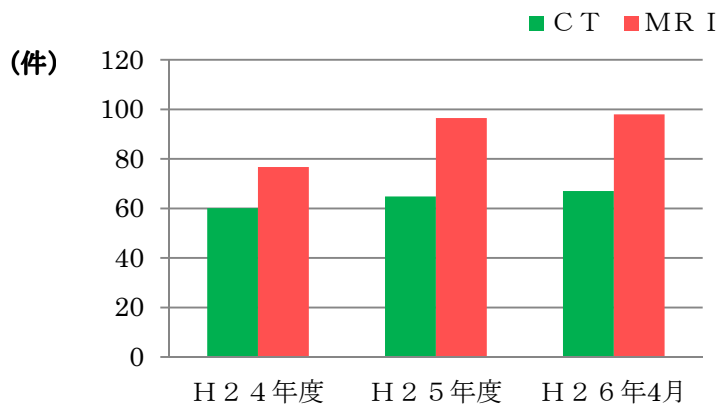


※地域医療支援病院の紹介率で計算

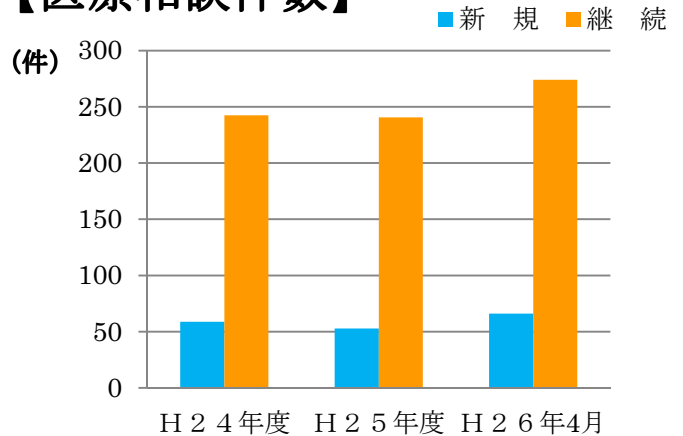
【紹介患者予約率】



【医療機器利用件数】



【医療相談件数】



第 8 回地域医療研究会を開催しました



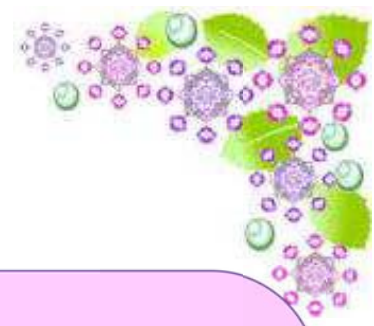
平成26年5月21日（水）、第8回地域医療研究会を開催いたしました。

講師に、名古屋市立大学大学院 医学研究科 心臓・腎高血圧内科学 教授 大手信之 先生をお迎えし、「心筋梗塞と心不全」の特別講演を開催いたしました。

当日は、当院の循環器内科 鈴木理 部長による、「ASVとその併用療法について」の講演を同時にいたしました。

医師会の先生方や当院医師等約 50 名が参加し、先生のご演を聴講いたしました。





『整形外科へのご紹介について』

現在、骨折などの外傷手術のほか、変形性関節症に対する人工関節手術、関節鏡手術、腰椎椎間板ヘルニアなどの脊椎・脊髄疾患の手術など、整形外科全般に渡って幅広く治療を行い、ご紹介いただいているところであります。

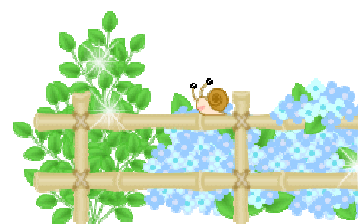
なお、開放性骨折、多発外傷、骨盤骨折、脊椎損傷、指切断等の患者さんにつきましてはお受けできません。ご不便、ご迷惑をおかけしておりますが、今後とも、ご理解とご協力をお願い申し上げます。

『眼科の診療内容について』

週に1回（水曜日）の外来診療のみ現在行っております。手術に関しては、術後、翌日の診察が行えない為、現在行っておりません。また、眼鏡処方に関しては、眼鏡処方が常に行える体制がとれず、現在処方を行っておりません。ご不便・ご迷惑をおかけし大変申し訳ありません。今後ともよろしくお願い致します。

休診のお知らせ

日付	診療科	医師名	内容
6/5（木）	内科	新実	休診
6/26（木）	内科	新実	休診
7/4（金）	内科	鈴木	休診
7/9（水）	内科	梶野	休診
7/14（月）	内科	梶野	休診
	外科	神谷	佐藤医師へ変更
7/16（水）	外科	神谷	水野勇医師へ変更
7/22（火）	内科	鈴木	休診
7/24（木）	整形外科	金子	休診



第 66 回病診連携合同研究会

下記の通り、第 66 回病診連携合同研究会を開催させていただきます。
ご多忙の折、誠に恐縮ではございますが、万障お繰り合わせのうえ、ご出席賜りたくご案内申し上げます。

日時 : 平成 26 年 6 月 10 日（火） 20 : 30 ~ 22 : 00

会場 : 名古屋市立緑市民病院 北館 4 階 講義室

講演 :	『心筋虚血の新しい検査』	名古屋市立緑市民病院	循環器内科部長	笠松 謙
	『変形性膝関節症の治療』	名古屋市立緑市民病院	整形外科部長	服部 明典
	『泌尿器科領域での悪性腫瘍治療の現状』	名古屋市立緑市民病院	泌尿器科部長	南館 謙

「地域包括ケア病棟」開設について（ご案内）

当院では、平成26年7月より、一般病棟50床を「地域包括ケア病棟」とし、入院治療を行います。

当院の病棟構成は、「急性期病棟」3病棟と「地域包括ケア病棟」1病棟で205床となります。

地域包括ケア病棟は、早期の家庭復帰・社会復帰を実現する為に、①急性期後の受け入れ、②在宅復帰支援、③在宅患者等の救急対応、以上の3つの後方支援病棟としての、役割・機能を果たしてまいります。

つきましては、下記のと通りの運用を考えておりますので、ご理解とご協力をいただき、当院を連携先としてお考えいただければ幸いです。

記

【受入開始日】 平成26年7月1日（火）から

【受入窓口】

平日：9時から18時

土曜日：9時から12時

地域医療連携室 電話：052-892-1334（直） FAX：052-892-1315

時間外・土曜日・休日・年末年始等：

病院日当直 電話：052-892-1331（代） FAX：052-892-1481

【当院の病棟配置】

	一般病床	亜急性期病床	地域包括ケア病床
対象患者	急性期治療対象患者	急性期治療後 在宅復帰支援が必要 在宅患者等の救急対応	急性期治療後 在宅復帰支援が必要 在宅患者等の救急対応
入院期間の目安	急性期治療終了時 平均在院日数18日 ※1	60日限度※2	60日限度※2
医療費	出来高	包括	包括
看護体制	7対1	7対1	13対1
病室	2B：50床（南館） 3B：50床（南館） 4A：35床（本館） 計 135床	4Aの一部：20床 （H26年9月末廃止）	4B：50床 （南館）

※1 平均となりますので、患者さんの症状により入院期間は変わります。

※2 あくまでも目安となります。実際の入院期間は、主治医等より説明いたします。

ご不明な点がございましたら、お問い合わせくださいますよう、よろしくお願い申し上げます。

担当：地域医療連携室
電話：052-892-1334